

第17回日本遠隔医療学会学術大会 ランチオンセミナー

医薬連携システムからHER/PHRへ ～これまでの実証実験から本格稼働に向けた 医療現場の課題～

1 薬剤師の視点から 飯原 なおみ

徳島文理大学香川薬学部教授

2 医師の視点から 石田 俊彦

NPO 法人香川糖尿病支援まんでがん (KDMCM) 理事長
医療法人 財団博仁会 キナシ大林病院 糖尿病センター長
徳島文理大学保健福祉学部
香川大学名誉教授



講演日：平成 25 年 10 月 18 日 (金)
12:30～13:30

会場：サンポートホール高松 ホール棟
第2小ホール (国内第2会場)

石田先生の患者さんのための医療業

生活習慣病考

生活習慣病考

香川大学名誉教授(医学部) 石田 俊彦

川柳



医薬分離とは医薬分離と書く者」と「処方箋を見てもいい、「医」と「薬」を分離することから始まりました。なぜ医と薬の分離が必要だったのでしょうか。

そこには中世のシテリア王国フリードリヒ二世の王位継承をめぐる毒殺防止という恐ろしい物語があったのです。彼が制定した医薬分業法は「診断して処方箋を

生活習慣病考

香川大学名誉教授(医学部) 石田 俊彦

川柳



通院している人へ。お薬手帳を持っていますか？それを通院時に持参して先生に見せていますか？先生から診察時にお薬手帳

見せてくださいと言われていませんか？調剤薬局に処方箋と一緒に差し出して、最新の処方情報を貼ってもらっていますか？残念ながら診察現場でお薬手帳が

しょうか。

が、その意図が十分に理解されていないようです。医薬分業とは、医師は診察と処方、薬剤師は調剤と服薬指導(飲み方や相互作用など)と、お互いの専門性を独立させて尊重しながら患者により良い薬物療法を提供し、かつ安全性を確保する医療の仕組みのことです。世界の医薬分業の歴史は古く、1204年に欧州で誕生しています。日本では1874年に制度化されたのですが、薬局と薬剤師が不足していたので医師の自己調剤が例外的に認められ、その後100年近く、医薬分業は進みませんでした。医薬分業における薬剤師の専門性が理解されるよ

うな活動が不十分だったと思いますので、今後の啓発が必要です。お薬手帳は、患者自身が管理して持ち歩く「自分の身を守るための薬のカルテ」であり、命の次に大切なものと考えてください。お薬手帳には、薬の服用記録が経時的に記載されているだけでなく、アレルギーや副作用歴なども記載されます。「お薬で、お腹がおきる、糖尿病」といわれるように、合併症があれば必然的に多くの薬が処方されることがあるので、お薬手帳が必要です。複数の医療機関を受診する時も、薬の飲み合わせの確認や、効果が重複する薬の服用防止

に手帳が役立ち、副作用も未然に防げます。災害時にも大変活躍しますが、手帳をなくした場合を想定して電子お薬手帳が作成され、将来は調剤薬局で携帯電話に保存できるように計画されています。既に、電子糖尿病手帳(電子健康手帳)はIT会社と共同で開発しアップロードできるようになりましたので、健康管理のために使用してみてください(「からだなび」で検索)。

と、近年強制分業に踏み切った韓国や台湾などアジアだけです。欧米では「医薬品に関することは全て薬剤師が責任を負う」という考えが基本にあります。他方、日本は明治以来「調剤」にこだわったまま、国民には薬剤師は医薬品全体の責任者という認識がなく、医薬分業の趣旨が十分理解されていないと思われまます。その結果、医療機関の診察で長い間待たされ、ようやく診察が終わると調剤薬局でも待たされ、二度手間と負担増ばかりに不満がいくつです。分業の本旨は①処方内容のダブルチェック機能②医薬品の専門家の薬剤師に任せる③複

数の医療機関受診や多剤服用による副作用防止などに、より安全性を担保することなどです。従って、医薬分業には時間的浪費や費用負担増というデメリットを上回る、安全性を担保するメリットがあります。調剤薬局は大きな病院前所にある「門前薬局」、診療所の隣にある「マンツーマン薬局」、最近、調剤に参入している「ドラッグストア」などたくさんあります。医療情報のデータベース化が完成すればこの薬局でも情報は共有されますが、それまでは「かかりつけ薬局」を持つことです。そこで今まで飲んでいた

記録が残っています。皆さんも薬局で、自分の薬歴があるかどうかを尋ねてください。また、お薬手帳を必ず作ってもらい、処方箋の内容を貼り付けるだけでなく、処方医・薬剤師・患者間で情報の駆け橋として利用してください。お薬手帳は常に携帯するには不便です。現在、電子お薬手帳を開発していますが、それまでは皆さんの携帯電話で処方箋や検査結果などを写真に撮って保存してください。自分の健康情報を自分で管理すれば、いざという時に役立ちます。自分の身は自分で守らなければ誰が守ってくれますか？自分でしよう！